

■交通基本法案に意欲

辻元清美・国土交通副大臣は14日の記者会見で、公共交通機関のバリアフリー化や環境負荷低減を促進するための「交通基本法案」を、来年の通常国会に提出したいとの考えを明らかにした。

民主、社民両党が野党時代に提出した交通基本法案をベースに、高齢者や障害者を含むすべての人が安心して公共交通機関を利用できるよう、国や自治体、企業の役割や責務を定める方向。「人の移動の権利」を法案に盛り込むことも検討するという。